

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2022年度第3回事業普及委員会議事録

I. 日 時： 令和4年7月9日（土）17:00～19:00  
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoomによるオンライン会議）

II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、歌代委員(すべてネット出席)  
(事務局：井端事務局長、中村)

III. 検討内容

コロナ感染防止のため引き続き、ネットによる委員会として開催した。

1. 2022年度機関誌 No.2（9月号）の企画について

① 巻頭言は、関西大学の前田裕学長に依頼することにした。

② 特集は、「授業改善とラーニングアナリティクス」とした。

学修者本位の教育の実現、学びの質向上に向けて教育へのDXの導入が推進されており、その目指すところは、学修者一人ひとりに最適な学びを提供し、他者や社会の問題に関心を寄せ、自ら主体的に考え行動がとれるようになることが大切とされている。それには、対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド型授業環境の整備、複数のLMS（学修支援システム）による高度化、教育・学修のビッグデータを統合するシステムの整備、教育・学修ビッグデータの分析と可視化、分析結果に基づく個別最適化された学修指導などが一体的に行われる授業改善・学修改善が望まれていることなどの観点から、特集として「授業改善とラーニングアナリティクス」をとりあげ、教育のビッグデータ分析、学修のビッグデータ分析ともいわれるラーニングアナリティクスの重要性、活用で期待される可能性・効果、普及のための課題などについて、探求することにした。

掲載依頼原稿は、以下の通りとし、依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・「ラーニングアナリティクスとは」（仮題）  
京都大学学術情報メディアセンター教授 緒方 広明 氏
- ・「eポートフォリオの教育ビッグデータとラーニングアナリティクス」（仮題）  
東京学芸大学大学院教育学研究科教授 森本 康彦 氏
- ・「大学教育における学修データ分析の活用」（仮題）  
九州大学大学院システム情報科学研究院准教授 島田 敬士 氏
- ・「LMSを活用したラーニングアナリティクスによる授業改善」（仮題）  
金沢工業大学基礎教育学部教授 西村 秀雄 氏

③ 「数理・データサイエンス・AI教育の紹介」として、文科省が「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定した大学の中から、「先導的で独自の工夫・特色を有するもの」として「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に選定した10大学の取組みを2022年度 No.1 から紹介しており、No.2 では、『「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」選定校における教育実践取組みの紹介(その2)』として以下依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・北海道大学：  
数理・データサイエンス教育プログラム 一般教育プログラム
- ・北海道医療大学：  
医療系大学での学びあいと内製AIによる学修者本位の教育
- ・千葉大学：  
学術発展科目群数理・データサイエンス科目

④ 「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。

- ・2023年度(令和5年度)文部科学省概算要求に対する情報関係補助金予算の要望
- ・公益社団法人私立大学情報教育協会とは
- ・2022年度行事日程・加盟校の特典
- ・2022年度私情協 教育イノベーション大会 オンライン開催 開催要項

⑤ 「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。

- ・アクティブラーニング分野連携対話集会の実施結果
- ・分野横断フォーラム型授業の実験（医療系、法政策系）
- ・思考力等の外部点検・評価・助言モデルの構想研究

⑥ 「募集」は、以下を掲載することを確認した。

- ・教育事例等コンテンツオンデマンド配信案内

⑦ 「賛助会員だより」は、以下を掲載することを確認した。

- ・(株)アルファシステムズ
- ・(株)NTTデータ関西

2. その他（次回の日程について）

次回は2022年度No.2(9月号)の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、9月9日(金)18時より、引き続きネット(ZOOM会議)にて開催することとした。